



## 湾岸・アラビア半島地域ニュース

### カタール：2007年経済成長見通しと不動産価格の高騰 (10月22日付現地各紙)

1. カタール・ナショナル・バンク (QNB) が発表した GDP 及びインフレ予測。
  - (1) GDP 及び経済成長率：

カタール経済は、引き続き天然ガス及び関連産業によって牽引され、2007年の GDP は前年比 17.8%増の 2,261 億カタール・リヤル (QR) (約 7 兆 2,352 億円)、2008年には前年比 16.5%増の 2,635 億 QR (約 8 兆 4,320 億円) となり、国民一人当たり GDP は 2008 年末までに 68,467 米ドルに達し、世界で最も裕福な国家の一つとなる。
  - (2) GDP に締める石油ガス部門の比率：

2007年に石油ガス部門の GDP に占める割合は 60%に上る見込み。これは、石油価格の上昇圧力及び石油ガス及び関連商品の増産に起因するものである。他方、カタール経済の多角化政策を受け、今後数年のうちに GDP に占める非石油ガス部門の割合が拡大し、石油ガス部門の割合は 2008年に 58%に低下することが見込まれる。
  - (3) インフレ：

カタールのインフレは急速に上昇している。2001年までの 5年間の平均インフレ率は 2.6%だったのに対し、2006年までの 5年間に平均 6%となった。2007年上期のインフレ率は 10.1% (2006年同期 11.8%) で、2007年の年間インフレ率は 7.5%から 10%の間となろう。ここ数年のインフレ上昇の要因は、急速に増大する住宅費にあり、2007年上期に住宅費は 21.7%増加した (2006年 26%増、2005年 26.3%増)。建設コストの急増及び資材価格の高騰により、住宅市場は全体的に多大な価格上昇圧力にさらされている。
  - (4) 試算前提：カタール産原油価格は 1 バレル = 平均 61 米ドル、2007年上半期原油生産量は 80 万 B/D。2007年 LNG 輸出量は 2,900 万トンに拡大 (2006年、2,510 万トン)。非石油ガス部門の GDP が 2007年に 22.5%増の 897 億 QR (約 2 兆 8704 億円) に拡大。
2. 不動産賃貸料の高騰 (クウェイト金融センター報告による)
  - (1) ドーハの不動産賃貸料は 2004年 11月 - 2006年 11月の 2年間に GCC 諸国の諸都市の中で最高の高騰を記録した。
  - (2) カタールでは、2010年までに約 25 万戸の住宅物件が必要となる一方、供給数は約 24.4 万戸にとどまるだろう。需要数約 25 万戸の 75%に相当する約 18.7 万戸が外国人居住者のために必要となるだろう。
  - (3) オフィス用物件についても供給が追いつかず、ドーハ中心部のビジネス街においては賃貸料が 2005年 8月以降 37%上昇した。その主な原因として、外国企業のカタール進出の増加が挙げられる。